

3年学年育友会

日時：令和元年6月26日（水） 14：00～16：00

場所：管理棟2F ゼミナール室

内容：(1) 開会の言葉

(2) 育友会長、校長より挨拶

(3) 駿台予備学校 西尾氏より受験生を持つ保護者の心構えについて

(4) 進路支援部より入試の流れ、心構えについて

(5) 学年主任より学年の状況について

(6) 閉会の言葉



駿台予備学校西尾氏からは、

①近年の傾向として浪人生の減少、国公立受験者の減少が見られ、国公立大受験を目指す現役生にとってはチャンスである。一方私立大は助成金の関係で合格者を絞っているため、特に難関私立大入試は一層難化していること。

②センター試験の平均点の推移のデータから、5教科型より3教科型の方が、1つの科目で失敗したときのダメージが大きい。受験科目を絞ることで、リスクが大きくなること。

③最後まで頑張った生徒が第一志望に合格している

ることを踏まえ、「第一志望はゆずれない」の信念が大切であること。などのお話がありました。

進路支援部の田口先生からは基本的な入試の仕組みやセンター試験までのスケジュールなどの説明の他、推薦の基準について、特編授業についてなどの話がありました。センター試験の手続きは、保護者の方の協力なしではできないことをはじめ、生徒とコミュニケーションを密にして情報を収集してほしいという話がありました。また「子どもたちの声」の紹介もあり、それを踏まえて保護者の方にも最後まで諦めず応援していただきたい、学校も親さんと共に生徒を支えていきたいという旨のお話がありました。



学年主任の内田先生からは、3年生は学習時間も増えてきて、授業に集中する姿が見られるとの報告がありました。歯科・眼科の受診の案内をもらった方は、早めに治療し、勉強に集中できる環境を整えるなど、保護者の方々にもご協力をお願いしたいという旨のお話がありました。



御多用の中、200名近くの保護者の方に参加していただきました。ありがとうございました。